
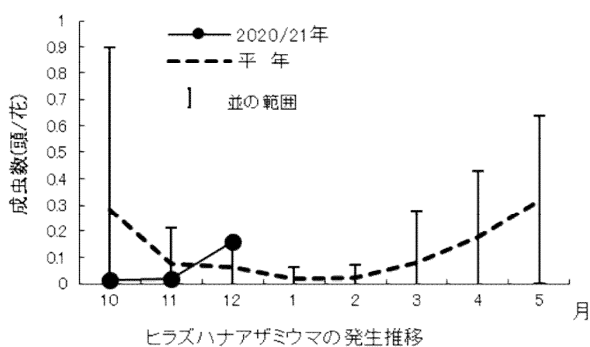
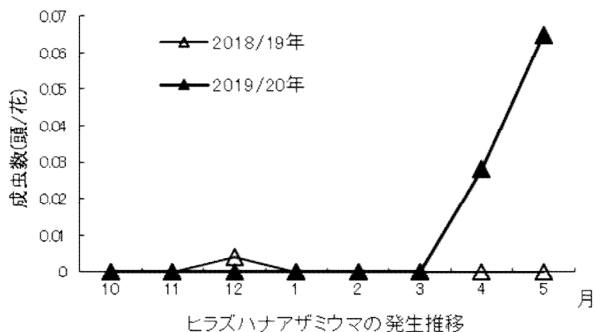


作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	① ヒラズハナアザミウマ		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	12 月からの増減傾向	↓	
	1 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果



過去 2 年間の推移



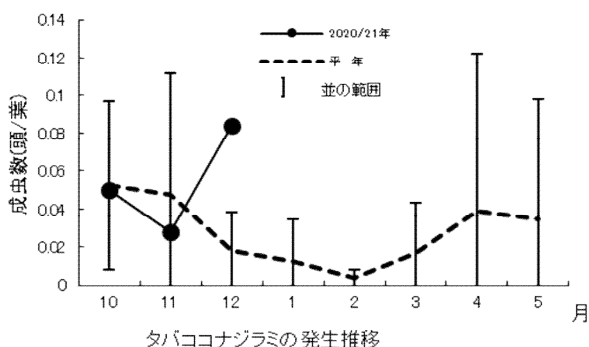
防除のポイント

- ・本種は主に花に寄生し、多発すると産卵により果実へ夕部や果梗部が黒変する。
- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・繁殖力が高く多発すると防除が困難になるため、初期防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・同系統薬剤の連用を避ける。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない薬剤を選定する。

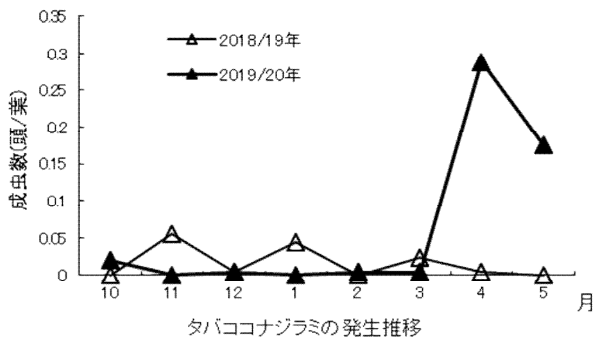
作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	② タバココナジラミ		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	多	
予報	12 月からの増減傾向	↓	
	1 月の発生量 (平年比)	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	



調査結果




過去 2 年間の推移



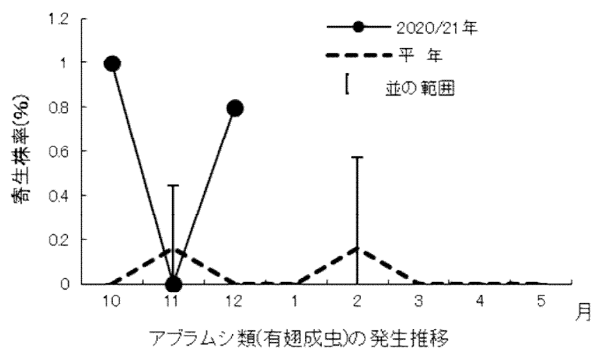
防除のポイント

- ・施設の開口部には防虫ネット等を張り飛来侵入を防ぐ。
- ・本種は、多発すると果実の着色異常やすす病を引き起こすため、早期発見防除に努める。
- ・発生源となる周辺雑草の除去に努める。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。
- ・天敵を利用している施設では、薬剤散布の際には天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。

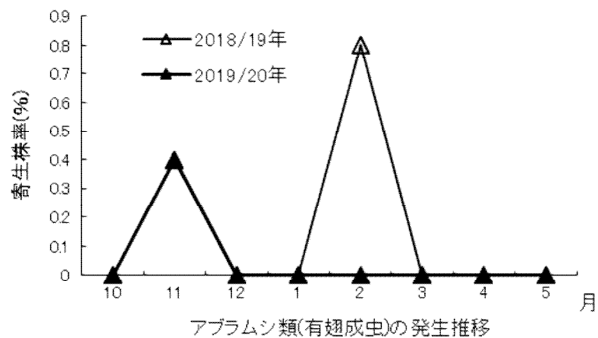


作物	ピーマン(施設)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	多	
予報	12 月からの増減傾向	→	
	1 月の発生量 (平年比)	多	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	

調査結果



過去 2 年間の推移



防除のポイント

- ・ 本種はモザイク病を媒介する。
- ・ 施設の出入口や側窓は0.6ミリ以下のネット等で被覆し、有翅虫の侵入を防ぐ。
- ・ 施設周辺の雑草は本種の発生源になるため除去する。
- ・ 発生初期は局所的に分布するので、被害葉を除去し、スポット散布を行う。